

# 京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2頁 このままでいいの?—キリストとともに歩もう

6頁 小学生侍者合宿

発行 京都司教区  
責任者 村上透磨  
京都市中京区河原町  
三条上ル  
京都教区時報編集室  
TEL 075-211-3468  
FAX 075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)  
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601

生活によるあかし  
京都教区が進めている「新しい福音宣教」において、ひとつの新しい方法として生活によるあかしがあります。これは、生活を通して福音を告げることです。神を知っている人が神を知っている生き方をすることがあります。そのような生き方は、「あの人はどうしてあんな

に苦しいのに、いつもニコニコしているのだろう。どうしていつもニコニコ教会に行くのだろう」と、生身の人の生き方が福音をより良く告げるものなのです。

(4月19日開催)  
福音センター養成コース講座『今さら聞けへん「福音宣教」でなんやの?』大塚喜直司教講話より  
(写真は、パン切り用ボードに書かれた台所の祈りです)

6  
2006



第32回カトリック正義と平和全国集会「京都大会」  
このまままでいいの?  
—キリストとともに歩もう—

カトリック京都司教 パウロ大塚喜直



京都教区の皆さん、私たちは『日常からミサを生きる』パート3として「新しい福音宣教」を目指していますが、すでに今年の年頭書簡でもお知らせしましたように、10月7日から9日にかけて第32回カトリック正義と平和全国集会が京都教区の主催で行なわれます。教区の「カトリック正義と平和京都協議会」を中心に大会実行委員会を設け、教区を挙げて準備を進めています。

「新しい福音宣教」の新しい表現とは、福音の内容を損なうことなく、その実践を現代社会に適応させることですが、現代の福音宣教は、教会が社会問題に関わる靈性を「人間は

教の状況はかなり変わって来ています。「新しい福音宣教」には、貧しい人々、社会的に弱い立場の人々、若い人々への配慮や、家族、労働環境、社会正義、福祉、文化面でも、今まで以上に正義と平和の福音的な預言者のかかわりがあるはずです。

今回の京都大会のテーマは、

「このまままでいいの?—キリストとともに歩もう」です。昨年戦後60年の平和旬間に日本カトリック司教団は『非暴力による平和への道』今こそ預言者としての役割を「」を発表ましたが、「このままでいいの?」という呼びかけも、今日の世界や日本を覆う諸問題の根底に平和への脅威があることを痛感し、「このまま、何もなくてもいいのだろうか?」とキリスト者としての「預言者」として責任を喚起しています。

ヨハネ・パウロ2世は、教会が

「教会の道である」という表現で表わし、「教会の唯一の目的がキリストご自身によって教会に託された人間に對する配慮と責任である」(『新しい課題』より)と、教会の預言者としての使命を定義されました。私たち現代のキリスト者が

『新しい課題』より)と、教会の預言者としての使命を定義されました。私たち現代のキリスト者が

なる神様に京都大会への祝福を願い、「みながひとつになって」(司教のモットー)祈りのうちに準備を進めてまいりましょう。

参加を希望される方へ

全体スケジュール

10月7日(土)

午後4カ所で現地学習、夕刻開会式

10月8日(日)

基調講演、分科会(聖母女学院短期大学)

10月9日(月・祝)

全体会、ミサ 13時終了

場所

7日の開会式はアピカルイン

京都(地下鉄松ヶ崎駅下車徒歩約20分)

8、9日は聖母女学院短期大学(京阪藤ノ森駅下車徒歩約5分)

大会において全国から参加される皆さんとともに私たち京都教区民が「新しい福音宣教」として、この「正義と平和協議会」全国集会に参加してください。そして、人間に対する配慮と責任を果たす教育の道をキリストとともに歩むた

め、社会の福音化に挑むための必

要な学習と、共に歩む仲間作りを

深めましょう。お互いに是非、各

共同宣教司牧ブロックや小教区の

方の参加を呼びかけてください。

この大会の成功のために関心を持

ち、お祈りをお捧げください。ま

た大会には多くの経費がかかりま

す。教会・修道会・個人の皆様の

ご理解と温かいご寄付もお願ひい

たします。

では、正義と平和の源である父

問合せFAX075(223)2291京都大会実行委員会

## 日本訪問団よつこそ 濟州教区中央カテドラル教会

写真は河原町教会司教座聖堂で行われた濟州・京都姉妹教区交流ミサのスナップです。

4月26日(水)、濟州・京都姉妹教区交流の一環として、濟州教区中央カテドラル教会の日本訪問団が、京都を訪問しました。

京都には濟州教区中央カテドラル教会の主任司祭林(イム)神父と2人の神父、3人のシスターと信徒、全員で30人が見えました。今回の日本訪問のスケジュールは次のとおりでした。

24日(月) 濟州出発、福岡着、長崎、雲仙を巡礼

25日(火) 島原巡礼、フェリーで大阪へ

26日(水) 京都訪問

昼前に京都コリアンカトリックセンターに入りそこの親睦のグループ、サンバーン会の30人ほどの人たちと交流、一緒に昼食をとり歓談しました。

次いで一行は金閣寺を見学して衣笠教会に立ち寄り、15人ほどの信徒やシスターと交流しました。その後平野神社を見学しました。

夕刻6時半から河原町司教座聖

堂で濟州・京都姉妹教区交流ミサが行われました。

ミサは京都南部東ブロックにより準備され、司式は浅田年生神父

以下、濟州教区の3名の神父を含めた9名の神父で行われました。

浅田神父の歓迎の言葉、ミサの祈り、朗読、聖歌、林神父のあいさつ、進行役の言葉もみな日本語とハングルを交え、あるいは通訳され、ときにはたどたどしい言葉でほほえみを誘っていました。

ミサの終わりに濟州教区の司祭とシスターに花束が贈られ、またプレゼントの交換がされました。ミサを通して聖歌隊のハングルの聖歌が聖堂に流れていきました。

ミサには合計200名ほどが参列し、民族衣装のチマチョゴリを着けた婦人も見かけました。昨今厳しい面も見受けられる日韓の間ですが、同じ食卓を囲んで、福音が生きている平和な姿を現した和やかな交流ミサでした。

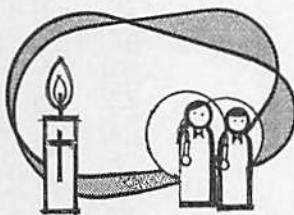


左は、「主の祈り」で、全員で手をつないで祈る司祭。このとき濟州教区の信徒も手をつないで祈られました。

下は、前の2列に座る濟州教区信徒の方々です。



## 養成コース案内



福音センター・ニュース

## 第27回 結婚講座

神からの“愛の贈り物”であるパートナーと  
互いを育てあいながら、生きて行くために…

講座日時 ①② 7月1日（土）

③④ 7月15日（土） 午前10時半～午後3時まで

⑤⑥ 7月29日（土）

費用 一人 10,000円（昼食付き）

会場 河原町カトリック会館 6階

申込締切 6月27日（火）まで

この講座では、教会での結婚式の意味を学びながら、和やかな雰囲気の中でお二人の関わりを深めて行くプログラムです。内容と前回の参加者の声を紹介します。

- ① 夫婦の対話……………自分の気持ちを正直に伝えることの大切さとむつかしさを痛感した。
- ② 愛の契約と夫婦の絆……………結婚式の具体的な進行や神の前で交わす契約の意味が理解できた。
- ③ キリスト教の愛と人間……………相手を自由意志によって選び選択する。当たり前のことだが、自分を一人の人間として意識した。
- ④ かけがえのない命・性……………ひとつの命がどれだけ大変なプロセスを経て誕生するか感動した。
- ⑤⑥ 結婚生活の体験を……………楽しかった！夫婦・親せき・親子など、様々な関わりについて。ケンカや仲直りの繰り返しでいいんだとほっとしました。普段聞くことの出来ないお話を途中で何度も涙があふれた。性といのちの大切さを子供にも伝えて行きたい。

## —問い合わせ・申込み先—

郵便番号・住所・氏名・結婚講座をご記入の上、参加費を

郵便振替口座（00920-4-161844 カトリック福音センター養成コース）へお振込み下さい。

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る 京都カトリック福音センター

Tel 075-229-6800 Fax 075-256-0090 E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp

## 今さら聞けへん

### 「福音宣教」てなんやの? (続き)

先月に引き続き、福音宣教についての講座をご紹介します

#### 福音化とは何か? (北村善朗師担当)

第3回目となる講座では、「福音化」という耳慣れない言葉に焦点が当てられました。「福音化」とは、まず自分自身の回心から始まり、人類の内的刷新にまでおよぶ非常に幅広い意味をもつ言葉です。わたしたちの回心は、ザアカイのように神に愛されている自覚から始まります。キリストの愛に出会ったわたしたちは、自分自身、教会共同体、現代社会の中にある非福音的なものに気づかされ、福音化の道を歩み始めます。

#### ●参加者は…

「教会や自分自身の回心・刷新が第一であるというのは、『そうか、そう思っていいんだ』と心に響いた」と、一人ひとりの回心が福音化の第一歩であることを新鮮に受け止める一方、そのことを現在行われている共同宣教司牧の活動にどのように生かしていくべきかという悩みも出されました。

#### 福音化の内容 (奥村 豊師担当)

上記のような「福音化」を受けて、奥村師による「福音化の内容(中心点)」をテーマとする講話が行われました。パウロ6世の回勅、『福音宣教』では、福音化の中心点は、イエス・キリストの十字架と死によってすべての人たちに与えられた神の恵みとあわれみ(救い)というもっぱら霊的なものであるとする一方、人間の「救い・解放」にまつわる社会的なことがらもまた当然そのなかに含まれると主張しています。奥村師は、この両者のバランスを実践面で保つことのデリケートさに触れながら、「キリストによる救われ方がある」とし、わたしたちがかかえる様々な問題の解決手段そのものに福音の光をあてるこの重要性が強調されました。

#### ●参加者は…

講話の中で語られた、「弱さの祝福」という言葉に共感する声が多く聞かれました。さらに、「福音化」における聖霊の役割についての質問があり、わたしたちが主体的に福音化を進める際の内的な力としての聖霊に、高い関心が寄せられていることがうかがわれました。

## 小学生侍者合宿

### 信仰教育委員会

3月28日から30日まで、「マラナタ」をテーマソングに、洛星の宗教研究館を会場にして小学生侍者合宿が行われました。参加者は、

小学生44名、(男子27名、女子17名)、奉仕スタッフ20名でした。

侍者の心得と基本についての講

話、実際の侍者練習、聖書の朗読練習と書写、岩田山モンキーパークへの遠足、女子カルメル会での祈りの時とシスター方との交流、そして30日の聖香油ミサでの奉仕。

こうしたプログラムを通して、子供たちは、祈りの心で奉仕することを学び、教会の仲間といっしょに歩むことの喜びを体験しました。

こうした奉仕と交わりの体験は、子供たちにとって福音宣教の第一歩となりました。ここで何人かの感想文を紹介いたします。

侍者合宿新6年にて…

一場 修神父

宇治教会 6年 池上真由

私は、この合宿にくるのは3回目です。

3日間みんなとすごしては「また来年」つていっていたけれどもう、これないのかなあって思ったらさみしいです。

みんなで勉強したり遠足行ったりしてたらあつという間に3日たっていました。

最後の聖香油のミサで祭壇にのぼった時ああ、とうとうここにのぼれたんだと思ったら4年生の時5年生の時の思い出が思い出されました。いつもロウソクもちばかりされていた私がとうとう祭壇にのぼれたんだな、て、かなり実感がありました。

遠足でいった猿山もみんなで、楽しくすごした夜も全部大切なものになりました。

ミサで司教様に水差しした時はすごくかんどうしました。水の入ったようきは重かったけど、すごくたのしかったです。

今度はリーダーとして来たいです。

### 楽しかった最後の侍者合宿

西院教会 6年 松尾麻未

3月28日、まちにまた最後の侍者合宿。ぜんぜん知っている人がいるけど同じ班の人とすぐには友達になった。1日目行進の練習。静かに歩くのが難しかった。

2日目遠足の日、嵐山のさる山、静かに歩くのが難しかった。

3日間みんなとすごしては「また来年」つていっていたけれどもう、これないのかなあって思ったらさみしいです。

3日間みんなとすごしては「また来年」つていっていたけれどもう、これないのかなあって思ったらさみしいです。

今日はミサでは、いろいろあつたけど、いちおう成功してよかったです。

3日目最後のしめくくり、すご

く緊張した。この日で、私は、侍者合宿が最後だから、ちょっと終わるのは、さみしいけど、3日かんのしかった。

3日目最後のしめくくり、すごく緊張した。この日で、私は、侍者合宿が最後だから、ちょっと終わるのは、さみしいけど、3日かんのしかった。

### 楽しかった侍者合宿

宇治教会 6年 中西真里奈



(左ページ下段もこの合宿のスナップです)

## ヒル神父



所属  
マリスト会

生年 1923  
叙階 1948

1951年日本に来たときに、古屋司教の叙階式がありました。奈良教会に赴任したとき、上田巖神父が主任としておられ、私の恩人です。信徒の方も親切でした。ずっと奈良南部におりますが、その頃近くで次々と新しい教会が

設立され、奈良教会も新しい聖堂が出来たのが懐かしい思い出です。共同宣教司牧は福音宣教の新しい動きであり、いろいろ難しい今の社会の中で信徒も善い知らせを伝える大きい役割を担つて来ていることは希望に満ちても嬉しいことだと思います。

少年刑務所の教誨師をしたり、身体障害者の作業所でボランティアをしていると、そこに福音を伝えるということだけではなく、そこに福音が生きているということを強く感じてきています。

## ここにちは神父さん

### カルメロ神父



所属カルメル

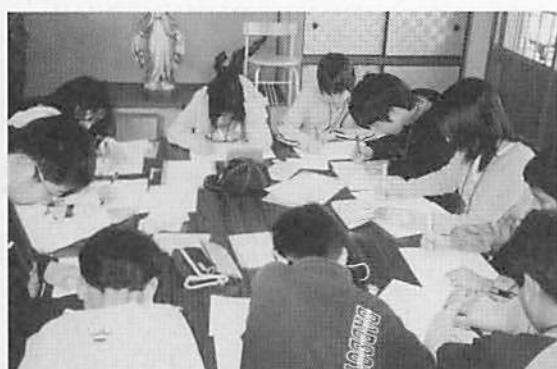
修道会

生年 1926  
叙階 1950

ました。この数年、種々の修道会の年の默想会と信徒の默想会の指導も頼まれるようになります。寂しくなる暇はありません。

大変嬉しく思っているひとつは、『祈りの友』というカトリック祈祷書の編集が出来たことです。それは多くの素直な信者の祈りの手助けとなっているからです。

現在、『傘寿の賀』を祝い、祈りの内に、宇治カルメル共同体の世話に、野菜の栽培を兼ねて、あこがれの神様との大切で決定的な面接の準備中です。



## 濟州教区の紹介4

交流部 兼元邦浩

### 濟州道の聖地

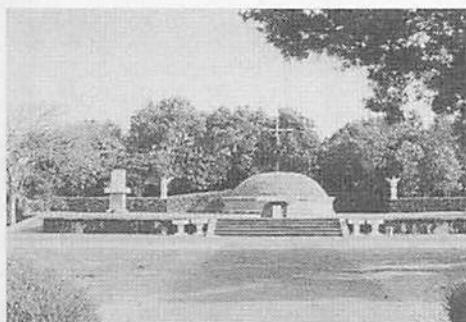
#### ■黄蛇坪(ファンサーピヨン)聖地

黄蛇坪(ファンサーピヨン)墓域は、辛丑教難時に犠牲になった殉教者らが葬られており、聖職者と信徒らの共同埋葬地として使用されているカトリック聖地である。濟州道に初めて福音が伝わったのは1898年道民の主体的努力の結果であった。

その後、1899年パリ外交宣教会と韓国人各1名の聖職者が派遣されて司牧活動を始めることになり、濟州カトリック教会は公式的に創立された。

そのうちに1901年辛丑教難という思わぬ事件が発生したのである。この不幸な事件の原因は端的に指摘できない複合的な要因が絡んでいた。

王室内蔵院より派遣されて来た奉税官の過多なる租税徴収により道民の憤りの声が高くなり、奉税官の小作管理人に利用された一部信徒らが住民の誤解を招く行動を取ったという点も指摘できる。加



(次回に続く)

えて、巫女らの厄払いによる道民の精神的・経済的被害と妾を持つなど非倫理的風習に強力に反対する教会に対して、土着勢力の既得権争いも主要原因として作用した。このような原因で立ち上がった民軍たちは奉税官に対する抗議、不當な租税徴収と収奪の是正を要求し濟州城へ進入した。事件が起きると奉税官は逃亡してしまい民軍たちは攻撃の対象を教会側に向けた。こうして700余名の信徒と良民らが觀德亭(カントクジョン)において虐殺された。事態が収まり遺体は別刀峰と禾北川の間の麓に捨てられ埋められた。

### 良書紹介

#### 『預言者たちの靈性』

私たちとのかかわりを求めて  
マグダlena・  
E・トーレス・アルビ  
(サンパウロ)

著者は三位一体の聖体宣教道女会会員で、主著に「火の祈り」「礼拝に生きる」(サンパウロ)「雅歌に親しむ」「イエスの感謝」「旧約聖書による靈性」モーゼ五書を読む(女子パウロ)等がある。

本書は、先の「続旧約聖書による靈性—預言者を読む」が改訂版として出版されたものである。著者も書いておられるように、「今日本では預言書の文献批判、預言者の歴史的背景、あるいは預言者の体験的心理学的分析などに関しては、かなりの書物が出ていますが、預言者たちを通じて、ご自分を顯示なさる神をみつめることを目的とした書物は少ないようと思われます。しかしこの近づき方は私たちの信仰に直結しているのではないでしょう」という言葉を聞けば、「予言」を考えるであろうが、神の「ことば」は命のことばであり、その命の言葉によって今私たち一人ひとりが生かされている。私たちが生きるのは、その命のことばを預かってのことなのだ。パウロ6世は福音宣教の中で、ロマ10・14～17で「信仰は聞くことに始まる」と言い、救いは聞くこと。おられる。また「改訂版にあたって」の中でも「各章の本文は変わっていませんが、その後私たちの洗礼による預言職を果たすために、

「今日日本では預言書の文献批判、預言者の歴史的背景、あるいは預言者の体験的心理学的分析などに関しては、かなりの書物が出ていますが、預言者たちを通して、ご自分を顯示なさる神をみつめることを目的とした書物は少ないよう思われます。しかしこの近づき方は私たちの信仰に直結しているのではないでしょう」と、その目的を書いておられる。

また「改訂版にあたって」の中でも「各章の本文は変わっていませんが、その後私たちの洗礼による預言職を果たすために、

または預言者との関連の幾つかのヒントを付け加えました。また預言者のメッセージージと現代の関係を示すために、ところどころ第2バチカン公会議以後の教皇の使徒的勧告を引用させていただきました。

わたしたちも、先輩の預言者と同様にみことばを預かり述べて伝える使命を授けられています……」とある。

旧約預言書の解釈書はかなり見出し得ても、預言者やその靈性についての書物は日本語で手に取ることは少ないようと思われる。その意味で本書の第1部「預言」の項が大いに参考になります。

私たちが「よげん」という言葉を聞けば、「予言」を考えるであろうが、神の「ことば」は命のことばであり、その命の言葉によって今私たち一人ひとりが生かされている。私たちが生きるのは、その命のことばを預かってのことなのだ。パウロ6世は福音宣教の中で、ロマ10・14～17で「信仰は聞くことに始まる」と言い、救いは聞くこと。聞くことが出来るのは宣べ伝え方があるからだと語る。命のみことばであるキリストを預かる人が、眞の預言者と呼ばれるからである。

お  
知  
ら  
せ

教 区 委 員 会 か ら

修 道 会 か ら

10時 司式大塚喜直司教 ミサ後  
感謝の集い

月第2、第4、第5木曜日10時  
河原町会館6階ホール

◆在世フランシスコ会京都兄弟会  
▼集会17日(土) 13時半 フラン

シスコの家  
◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ

会▼河原町協議会11日(日) ▼中  
央理事会25日(日) ▼いずれも河

原町教会  
◆京都女子カルメル会▼講演とミ  
サ4日(日) 13時半講演、15時ミ  
サ 講演「祈り」中川博道師▼

「カルメル山の聖母の莊厳な記念」  
7月16日(日) 10時 聖体顯示、  
15時 ミサ ▼問合せ075(46)

◆二金会▼9日(金) 西陣教会  
会  
◆糠みその会▼29日(木) 19時半  
原町教会  
原町教会ホール

◆ラジオ「心のともしび」  
6月のテーマ「進歩」

14日放送・曾野綾子さんのお話。

◆和善聖書研究の集い▼17日(土)  
10時~18日(日) 15時半 三重県  
カトリック研宗館 指導松田清四

朗師(コンベンツアル聖フランシ  
スコ修道会) 問合せ0596(2)

◆「一万匹の蟻」運動基金報告  
写真もカラー化し、読みやす

くなっています。この機会を利  
用してカトリック新聞に親しま  
れるよう、強くお勧めします。

現 在 カトリック新聞の購読数  
が低迷しておりますので、この  
たびカトリック新聞社は、全国  
の各教区で「4週間無料試読」  
が行われます。期間中どなた  
でも応募葉書で申し込むだけ  
で、4週間カトリック新聞が送られ  
てきます。

カトリック新聞は、一般のマ  
スメディアでは知ることの出来  
ないカトリック教会の世界の動  
き、日本の動き、他の教区の動  
きを毎週1回自宅に届けてくれ  
ます。これらを知ることにより、  
現代社会の中で福音宣教を目指  
している私たちがどう生きるか  
を考え上で大きい示唆を得るこ  
とができます。

地 区 協 議 会 か ら

◆聖書委員会▼聖書深読10日(土)  
10時 新井延和師 河原町会館6  
階 費用2500円(昼食代を含  
む)、持参品、聖書・筆記用具・  
ノート(お申し込みは3日前まで  
に)▼聖書講座シリーズ「ヨハネ  
福音書を読む」復活の主に出会う  
5月31日・6月1日一場修師、7・  
8日大塚喜直司教、14・15日市瀬  
英昭師、21・22日中川博道師、28・  
29日伊徳信子氏

◆滋賀カトリック協議会▼例会25  
日(日) 彦根教会  
◆奈良カトリック協議会▼奈良地  
区聖書講座――今、預言者に聞く――  
9・10日森田直樹師(奈良教会)、  
23・24日大塚喜直司教(23日八木  
教会、24日奈良教会)

◆JOC▼働いている青年の集い。  
集会場所 京都働く人の家(九条教会  
前)連絡先090(8207)1831  
◆カトリック聴覚障害者の会京都  
グループ▼手話学習会8日(木)  
13時 河原町会館

◆京都カナの会▼例会、結婚相談  
室4日(日) 13時半  
19時 河原町会館6階

◆京都カトリック混声合唱団▼練  
習日11日(日) 14時、24日(土)

4) 5400杉浦まで

◆京都キリスト研究会▼定例会  
累計 47、086、341円

(4月18日現在)

4週間無料試読  
キャンペー

カトリック新聞

現 在 カトリック新聞の購読数  
が低迷しておりますので、この  
たびカトリック新聞社は、全国  
の各教区で「4週間無料試読」  
が行われます。期間中どなた  
でも応募葉書で申し込むだけ  
で、4週間カトリック新聞が送られ  
てきます。

シスコの家  
◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ

会▼河原町協議会11日(日) ▼中  
央理事会25日(日) ▼いずれも河

原町教会  
◆京都女子カルメル会▼講演とミ  
サ4日(日) 13時半講演、15時ミ  
サ 講演「祈り」中川博道師▼

「カルメル山の聖母の莊厳な記念」  
7月16日(日) 10時 聖体顯示、  
15時 ミサ ▼問合せ075(46)

◆二金会▼9日(金) 西陣教会  
会  
◆糠みその会▼29日(木) 19時半  
原町教会  
原町教会ホール

◆ラジオ「心のともしび」  
6月のテーマ「進歩」

14日放送・曾野綾子さんのお話。

◆和善聖書研究の集い▼17日(土)  
10時~18日(日) 15時半 三重県  
カトリック研宗館 指導松田清四

朗師(コンベンツアル聖フランシ  
スコ修道会) 問合せ0596(2)

◆「一万匹の蟻」運動基金報告  
写真もカラー化し、読みやす

くなっています。この機会を利  
用してカトリック新聞に親しま  
れるよう、強くお勧めします。

現 在 カトリック新聞の購読数  
が低迷しておりますので、この  
たびカトリック新聞社は、全国  
の各教区で「4週間無料試読」  
が行われます。期間中どなた  
でも応募葉書で申し込むだけ  
で、4週間カトリック新聞が送られ  
てきます。

カトリック新聞は、一般のマ  
スメディアでは知ることの出来  
ないカトリック教会の世界の動  
き、日本の動き、他の教区の動  
きを毎週1回自宅に届けてくれ  
ます。これらを知ることにより、  
現代社会の中で福音宣教を目指  
している私たちがどう生きるか  
を考え上で大きい示唆を得るこ  
とができます。

写真もカラー化し、読みやす

くなっています。この機会を利  
用してカトリック新聞に親しま  
れるよう、強くお勧めします。

京都司教 大塚喜直

# 大塚司教の

- 6月のスケジュール
- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1日(木) 中央協常任司教委員会<br>東京カトリック神学院<br>常任司教委員会 | 3日(土) 津カトリック保育園創立40周年9時   |
| 4日(日) 京都南部地区合同堅信式(河原町) 14時                | 5日(月)~6日(火) 青少年委員会研修会     |
| 7日(水) 済州京都姉妹教区の日<br>教区聖書講座(河原町) 19時半      | 23日(金) 奈良聖書講座19時(大和八木)    |
| 8日(木) 教区聖書講座(河原町) 10時                     | 24日(土) 奈良聖書講座10時(奈良)      |
| 9日(金) 諸宗教委員会(中央協)                         | 25日(日) 司教靈名ミサ(河原町) 10時    |
| 10日(土) 諸宗教シンポジウム(中央協)                     | 26日(月)~28日(水) 大阪教会管区司祭研修会 |
| 11日(日) 滋賀地区合同堅信式(草津) 10時                  |                           |
| 12日(月)~16日(金) 定例司教総会(中央協)                 |                           |
| 18日(日) 京都コリアンカトリックセンター創立50周年ミサ 10時        |                           |
| 19日(月) 女子カルメル修道会訪問(衣笠) 14時                |                           |
| 20日(火) 教区幼稚園連盟園長会 14時                     |                           |

◆編集部から  
お知らせに載せたい情報は、前月の1日までに、教区時報担当宛にFAX 075(211)4345か、henshu@kyoto.catholic.jpに、発信者のお名前を明記してお寄せください。

21日(水) 教区カトリック学校連絡会(校長会) 14時

22日(木) 司教顧問会・責任役員会 10時

規約調整委員会 14時

23日(金) 奈良聖書講座19時(大和八木)

24日(土) 奈良聖書講座10時(奈良)

25日(日) 司教靈名ミサ(河原町) 10時

26日(月)~28日(水) 大阪教会管区司祭研修会

## 青年センター運営委員会

安藤寧良  
ミサ後は青年センターから挨拶をします。

京都カトリック青年センターでは2カ月に一度、京都教区内の5地区の教会、施設をお借りして運営委員会をしています。

会議には5地区から選出された運営委員、担当司祭、Giovani編集長、センター事務局員、オブザーバーが出席しています。

議題は青年センターが発行している、機関誌Giovaniの編集会議や、各季節ごとの行事の企画、報告、反省などなど...たくさんあります。

司教スケジュールのうち、小教区評議会規約調整委員会日程の変更

第2回 7月8日(土)  
第3回 9月9日(土)  
第4回 11月25日(土)

の予定でしたが次のように変更になりました。  
第2回 5月18日(木) 14時  
第3回 6月22日(木) 14時  
第4回 10月12日(木) 14時  
第5回 11月9日(木) 10時

このように書くと、「堅苦しい会議」と思われるかもしませんが、みんなが活発に意見を言い、場の雰囲気は和気藹々としていて、ですが皆が眞面目に会議に取り組んでいます。

会議終了後は、交流会。青年達の近況を交えつつ、話に花を咲かせます。会場となっている教会の青年と交流させていただくこともあります。教区の中学生会、高校生会以来数年ぶりと

今月(6月)は17日は三重地区で、そして他の月は場所は決まっていませんが、今年度は9月、10月、12月、そして2007年2月と運営委員会を行う予定です。詳細はホームページでお知らせします。

お近くの教会で運営委員会が行われたら、顔を出してみて下さい。

青年センターホームページ  
<http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>  
携帯電話からも「」覗くなれます。  
<http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/m>